



今月の話題：トランプ大統領が声高に「アメリカファースト」と叫んで物議をかもしている。どんな国も自分の国が一番大事と思っているだろうに、わざわざ言い募るところが大人げない。恐らく、小さい時から我を張って大きくなったに違いない。現今の社会は共存共栄で協調精神がなければ自身の身をも危うくする。日本には横紙破りという言葉あるが、米語にはなさそうだ。成否は兎も角、成り行きを見守ってゆくしかない。(伊藤誠三)

□ **本部便り：**(金森捷三郎 記)

サーツ設立 20 周年記念大会

11 月 5 日 学士会館にて 15 時より開催。

内田祥哉先生講演、代表 3 氏の鼎談及び祝賀会

○次回拡大理事会：12 月 21 日 (金) 16:00～

18:30 より忘年会を予定しています。

□ **建築部会：**(岡本 直 記)

・今年度第 3 回のサーツ寺子屋は、8/21、「非構造部材の耐震化と機能継続」として講師：清家剛 東大准教授で開催し、28 名の参加者がありました。

・国土交通省の住宅建築技術高度化・展開推進事業に採択された「モンゴルの集合住宅 (WPC 構造) を対象とした耐震安全性の向上及び省エネ対策の立案」について、8 月末から 9 月初め、安部、松本、岡本がウランバートルに出張し、現地調査及び関連テーマのシンポジウムを開催しました。詳細は後日、サーツ誌にて報告します。

・改修専門会社の若手社員を対象とした講座「コンクリート及び外壁タイル技術の要点」の最終回を 9/26 に早川光敬講師により開催し、予定の 3 回講座が終了しました。

・9/15 開催のマンション耐震セミナーについてはマンション管理組合支援事業部報告を参照、文京区、中央区、練馬区から同様のセミナーへの協力要請を頂いています。

○次回建築部会 10 月 17 日 (水) 17:30～19:00

□ **戸建住宅部会：**(阿部市郎 記)

・木造住宅合理化システム普及協会事務局業務・・・事務局として (公財) 日本住宅・木材技術センターと緊密に連絡を取り、会員各位に対して情報提供を心がけている。また、「合理化システム長期性能タイプ A 型」については認定更新申請書を提出した。

・タウンハウス管理組合支援事業：千葉県埼玉県等近郊の 3 団地を継続的に支援しており、今年度は「長期計画」の策定、大規模修繕工事の支援、地盤沈下個別対応支援等に注力している。

・「平成 30 年度 CLT 等新たな木質建築部材利用促進・定着委託事業のうち、ディベロッパー等への普及に関する委託契約」が林野庁から採択され、7 月 17 日第 1 回の委員会 (松村秀一委員長) が開催された。

・教育普及事業として戸建住宅部会会員有志によりワーキングが進行中。①空き家とエリアマネジメント第 2 回 WG ②CLT を用いた小規模建築物の検討...9 月 13 日に第 3 回の WG を実施。③戸建住宅部会活動 20 年の整理...20 周年記念配布資料用に各部会共通のフォーマットで簡略化した戸建住宅部会年表を作成した。

○次回部会予定：10 月 4 日 (木) 18:00～

ショートスピーチ：大場明夫氏 「木造密集地域の事例」

□ **集合住宅部会：**(小畑晴治 記)

・マンション市場に異変が起き、郊外駅近マンションが人気を集めているという。都心や湾岸のタワーマンションがあまりに高額になり世帯形成層には買えない程に高額化したためだという。世帯形成層は、子育て支援の充実が必須のため、かなり割安に買える郊外のバス便団地には全く関心がないらしい。今夏の台風や洪水、地震の災害を見ていると、しっかり造られた集合住宅に住む安心感や災害対応強靱性が、大きな社会資産になっていることが痛感されるが、それが僅か築 40 年程度で“老朽マンション”とレッテルを貼られ、空き家化が進むような社会状況では情けない。的確な再生事業の取り組みで、住む人たちが、良好なコミュニティの中で、楽しく満足度も高く、相互に助け合えるような状況を醸成できれば、そうした状況をもっとクリエイティブに乗り越え、転換してゆけるものと期待しつつ取り組んでいる。

○次回部会予定：11 月 14 日 (月) 18:00～

□ **マンション管理組合支援事業部：**(丸山和郎 記)

1) 今年度新規受託契約済 13 件 (案件名は前号参照) で先月より引合い中の 2 件が成約した。

2) 前期からの繰越案件①練馬区豊玉北 (工事監理)、②藤沢市鶴沼、頻度別コンサル)、③板橋区栄町 (雑排水管更新コンサル)、④品川区南大井 (管理会社作成の長計案に対する校閲業務)、⑤品川区南大井 (地下湧水対策工事コンサル) を加えると計 18 件で、うち 10 物件が完了、8 物件が動いており、うち 1 件③板橋区栄町 (雑排水管更新コンサル) が来期へ繰越決算となる見通しです。

3) 下半期引合い 2 案件、①北区浮間 (改修工事監理)、②練馬区関町北 (建替え設計)、を受託努力中です。

1) 今年も東京都と共催のマンション耐震セミナーが 9 月 15 日に開催され、建築部会とともに個別相談対応に 4 コーナーを設け、22 組の耐震相談ほか対応を行いました。この内容詳細はサーツ会報に掲載する予定です。

2) 文京区施設管理課からの依頼による「公共施設の維持管理勉強会」が、10 月 12 日に行われます。その勉強会テキスト作りを丸山を中心に進めています。

○次回部会予定：11 月 14 日 (月) 18:00～

集合住宅部会と合同で行います。

□ 建築技術 10 月号 (9 月 17 日発売) サーツ欄掲載記事

・吉田倬郎：木造非木造の 100 年

・丸山和郎：「東京都重点供給地域内の小規模マンション建て替えのための勉強会開催」

□ 余滴：継続は力なりとぞ稲実る

捷三郎